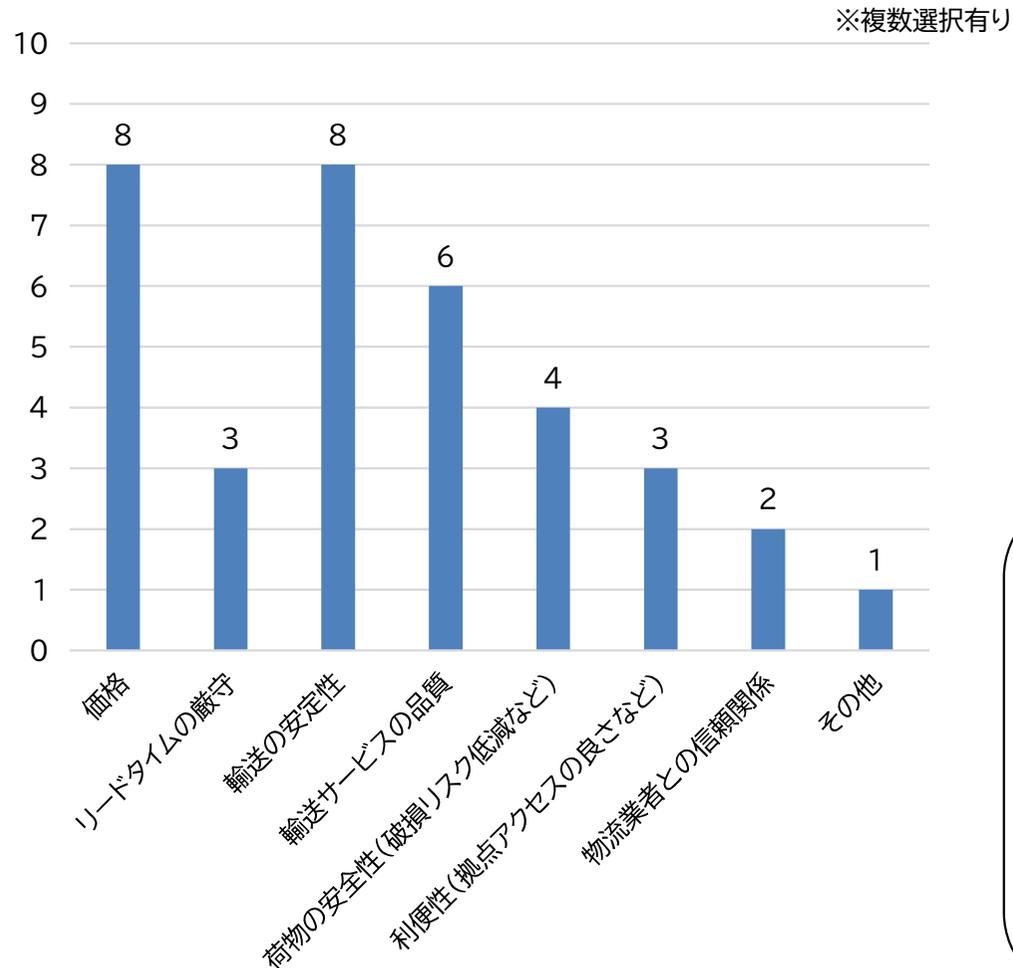


事業シミュレーションについて

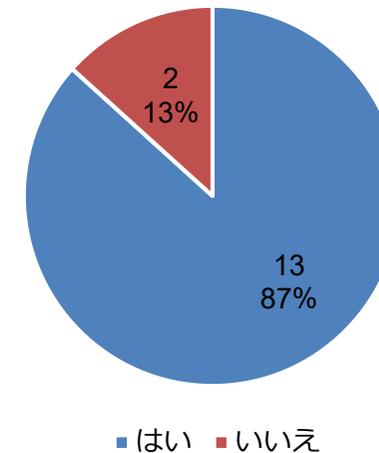
荷主・物流事業者向けアンケート結果概要

- コンソーシアム構成員のうち、荷主・物流事業者に対して自動物流道路の利用についてアンケートを実施し、15社より回答。
- 輸送モード及び運送会社等を選択する際の最も重要な決定要素として、「価格」、「輸送の安定性」の回答が多数。
- 自動物流道路が完成した場合、13社が利用したいと回答する一方、具体的な利用可能性については、前提条件だけでは不確定の部分が多く、回答困難という意見が多数。

質問①主たる取扱貨物について輸送モードおよび運送会社等を選択する際の最も重要な決定要素は何ですか。



質問②2035年以降、東京ー大阪間で自動物流道路が完成した場合に利用したいと思いますか。



<その他意見>

- 取扱貨物や目的地、時期などによって輸送モードおよび運送会社等を選択する際の最も重要な決定要素は異なる。
- 利用可能性については、恒常的に発生する自社拠点から自動物流道路拠点までの輸送・荷役に掛かる時間、コスト等を勘案したうえで検討する必要がある。
- 前提条件として「30km/h～50km/h」となっているが、現在のサービスレベルを維持できる水準として欲しい。

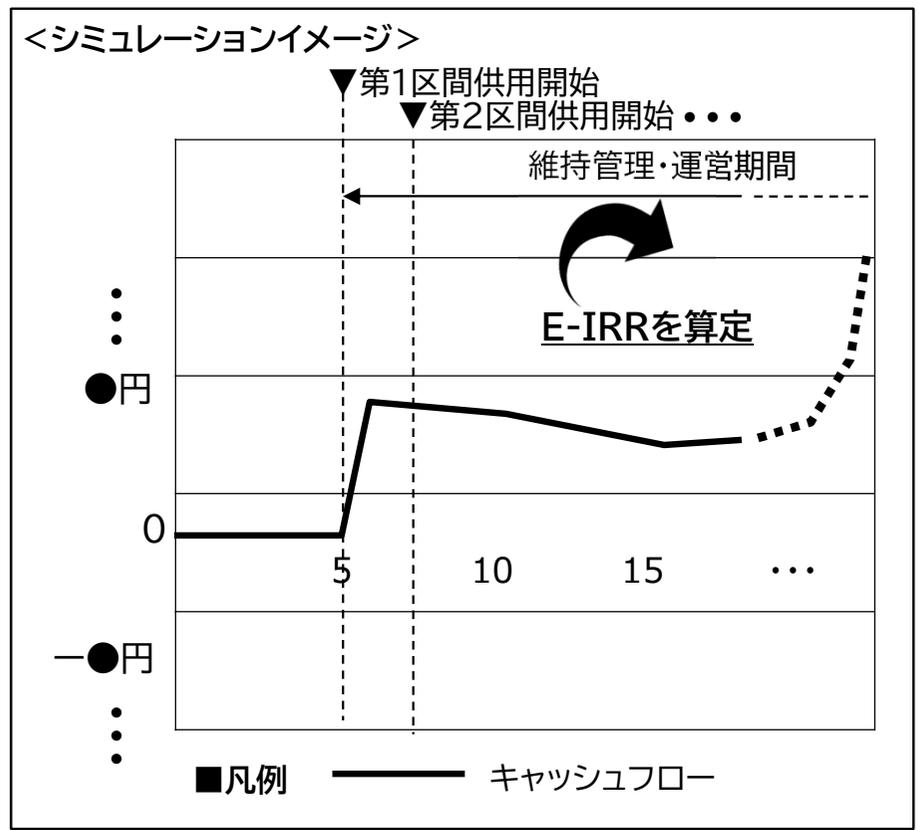
事業シミュレーションの実施

- 自動物流道路の社会実装に向け、民間企業の更なる参画を促進するため、キャッシュフローを可視化するシミュレーションの実施を検討。
- 昨年度実施したマーケットサウンディングを参考にシミュレーション条件(案)を設定。

【シミュレーション条件(案)】

- 民間事業者が自ら資金調達し、自動物流道路(インフラ、関連設備等)を整備、維持管理・運営
- 自動物流道路の区間は段階的に整備

項目	指標・内容	考え方
収入	約3,000億円/年 (東京-大阪間供用開始時)	・東京-大阪間の小口類(農水産品・軽工業品・雑工業品)のトン数に転換率やキャパシティーを考慮 ・「円/t」は標準的運賃の50%で算出
事業費	本体:490億円/10km デポ:3,000万円/100㎡ (資本金:約1,000億円、借入金34,000億円)等	・本体:建設事業者アンケートより ・デポ:近年の物流施設実績より
維持管理費	0.34億円/km	NEXCO3社の維持修繕費より
道路施設利用料	1,400円/㎡	道路占用料(道路法第32条第1項第3号第2級地(鉄道関連または類似施設))より
公租公課	固定資産税、法人税を負担	
資金調達・返済条件	金利:2.5%/返済期間:15年/据え置き期間:5年	利率は長期プライム、据置期間・償還期限はマーケットサウンディング意見より



※あくまでイメージであり、具体的な金額や期間等を示すものではない。
 ※整備費用の返済期間は、営業CFはプラスだが、財務CFはマイナス、
 営業+財務CF>0を想定

- ご意見をいただきたい論点等
- 事業として成立させるために、必要な条件や考え方を御教示ください。
(ex:想定される資金調達・返済条件、必要となるE-IRR)
 - 提供いただく情報は、御担当レベルの考え等で結構です。社の正式な回答として提示する必要はありません。